

M1ウォール

NETIS HR-040007

カルバート

道路側溝

防護柵

道路擁壁

補強土

のり面

共同溝

消・融雪

用排水

ため池

生態系

護床・
その他

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良



特長

M1ウォールは従来の大型ブロックを分割し、パネル組立式にする事により控え長と壁面勾配を自由に設定することができ、経済性・施工性・景観性・安全性を向上します。

① 高い施工性

部材がかさばらず軽量な為、施工に大型クレーンが不要です。また、搬入や置き場の確保が容易です。屈曲部やR部の施工も製品で対応できます。脱型の必要がありません。

② 高い経済性

現場条件に適した経済的な設計が出来ます。控え長と壁面勾配は自由に選択可能です。また、最下段のパネル高さを変化させ、縦断勾配に合わせて最小根入れにできる計画が可能です。

③ 高い安全性

縦貫鉄筋を利用することで手摺取り付けが可能です。より安全に、かつ足場費の削減ができます。

④ 高い品質

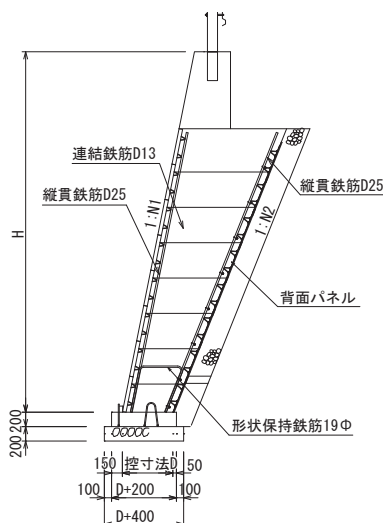
パネルの裏面に養生鉄筋がセットされているため、胴込めコンクリートと一体化すると共に打設時の打継ぎを適切に処置します。

⑤ 豊かな景観性

環境や景観に配慮した表面パネルのかすみ仕様は「美しい山河を守る災害復旧基本方針」に準拠し明度6以下となっています。

- 設計条件 (例)
 - 土圧
 - 試行くさび法による土圧
 - 地表面載荷重
 - 自動車荷重 $q = 10.0$ (kN/㎡)
 - 衝突荷重
 - 荷重 $P = 30.0$ (kN)
 - 輪荷重 $W = 25.0$ (kN)
 - 防護柵形式たわみ性防護
 - 1ブロック長 $LB = 10.000$ (m)
 - 擁壁背面の裏込め土
 - せん断抵抗角 $\phi = 30.00$ (°)
 - 単位体積重量 $\gamma_s = 19.0$ (kN/㎡)
 - 支持地盤の定数
 - 擁壁底版と基礎地盤の間の摩擦係数 $\mu = 0.600$
 - 擁壁底版と基礎地盤の間の粘着力 $C = 0.0$ (kN/㎡)
 - 許容支持力度
 - 常時 $qa = 300$ (kN/㎡)
 - 衝突荷重時 $qa = 450$ (kN/㎡)
 - 安定条件
 - (1) 滑動に対する検討
 - 滑動安全率 $F_s \geq 1.50$ (1.20)
 - (2) 転倒に対する検討
 - 合力作用位置 $d > 1/2 B$ (1/3)
 - (3) 支持に対する検討
 - 最大地盤反力度 $q_{max} \leq qa$ (kN/㎡)
 - ※ () は地震時、衝突荷重時

● 施工断面図 (例)



● 形状

① S2005 (表面パネル / 120kg)



② F2005 (背面パネル / 18kg)



③ W4 (表面パネル / 1.8kg)



カルバート

道路側溝

防護柵

道路擁壁

補強土

のり面

共同溝

消・融雪

用排水

ため池

生態系

護床・その他

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良

標準規格

	品名	寸法 (L×H×T) (mm)	重量 (kg)	㎡ / 枚	模様
表面パネル	S2005	2000×500×50	120	1.00	明度仕様
	S2010	2000×1000×50	240	2.00	
背面パネル	F2005	2000×498×5	18	1.00	フレキシブル
	F2010	2000×1000×5	3.2	2.00	フレキシブル
	W4	2050×530×4	1.8	0.50	メッシュパネル

S2010、F2010 最下段パネル斜切り加工用

施工歩掛

組立式大型ブロック工 (100㎡当たり)						
標準 据付数	世話役	特殊 作業員	普通 作業員	型枠工	ラフレーン クレーン運転	諸雑費率
㎡ / 日	人	人	人	人	日	%
45 (19)	2.22 (5.26)	2.22 (5.26)	4.44 (10.53)	2.22 (5.26)	1.11 (2.63)	15 (15)

※ 曲線部等で調整が必要な部分は () 内数値を使用するものとする。

胴込コンクリート工 (10㎡当たり)					
世話役	特殊 作業員	普通 作業員	コンクリート	コンクリートポン プ車運転	諸雑費率
人	人	人	㎡	日	%
0.15	0.23	0.53	10.40	0.12	2

施工フロー

